

[様式14]

(対象事業：ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業)

事業名：甲斐の国博物館ネットワーク事業

事業者名：甲斐の国博物館ネットワーク事業実行委員会

外観写真

連携事業館名：印傳博物館、甲斐黄金村・湯之奥金山博物館、甲府市藤村記念館、三分一湧水館、釈迦堂遺跡博物館、信玄公宝物館、北杜市オオムラサキセンター、北杜市長坂郷土資料館、身延町なかとみ現代工芸美術館、身延山宝物館、ミュージアム都留、山梨県甲府・国中地域地場産業振興センター かいてらす、山梨県立科学館、山梨県立博物館、山梨県立文学館、やまなし伝統工芸館、山梨中銀金融資料館

住所：山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

TEL：055-261-2631

FAX：055-261-2632

HPアドレス：<http://www.museum-kai.net/>

### ①施設概要

甲斐の国博物館ネットワーク事業実行委員会は、大河ドラマ『風林火山』の放映を機に、山梨県内の武田氏に関連する展示をおこなう博物館が連携して、より効果的な情報発信と来館者への案内を行うために立ち上げた組織である。

### ②事業の意図目的

大河ドラマ『風林火山』の放映による山梨県の歴史に対する県内外の関心の高まりという機会を生かし、県内博物館が連携して共同のガイドブック、ホームページの作製をおこない、各博物館と周辺の史跡情報をより効果的に発信することで、県内の文化資源の活用を進める。

### ③事業概要

各館周辺の史跡と参加各館の案内を盛り込んだガイドブックを編集・発行し、参加館、県内文化施設、駅などに設置した。同時に、ガイドブックの内容を活用してホームページを立ち上げた。参加館は地域のイベント情報、観光情報などを投稿し、コンテンツを随時更新した。来館者に対しては、ガイドランス業務として、各館の関連する展示の案内、史跡・イベント案内、参加他館の案内などをおこない、来館者の興味を喚起してさらに県内各地へ誘導するよう積極的に働きかけた。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他（ガイドブック、ホームページ）

作成した報告書等

ビデオ ( )

冊子 ( )

その他 ( )

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 人

内 訳

### (1) 事業の実施状況について

はじめに地域ごとの戦国時代武田氏関連史跡の位置と見所、および周辺の関連するミュージアムの案内を盛り込んだガイドブックを編集・発行し、参加館、県内文化施設、駅などに設置した。並行して、ガイドブックの内容を活用したホームページを立ち上げた。コンテンツは参加館が地域のイベント情報や観光情報などを投稿し、現在も更新中である。

参加館では来館者に対して、ガイドブックを活用しながらガイダンス業務をおこなった。ガイダンス業務は各館に展示されている関連資料の内容や、周辺史跡およびイベントの案内、さらに参加他館の紹介などについておこない、来館者の興味を喚起してさらに県内各地へ誘導するよう積極的に働きかけた。

### (2) 地域との連携について

本事業では県内17の博物館が連携した。設置主体は県立、市町村立、あるいは私立など様々であった。さらに、歴史的なテーマ設定であったにも関わらず、文学館や自然科学系の博物館などからも積極的な参加があった。このことで、県内全域に参加館が分布することとなり、事業をより広域的に展開することが可能となった。これは当初の目的であった県内各地の文化資源の活用という点からも有効で、館のテーマにかかわらず、地域の史跡を活用することを通じて、地域の活性化に貢献でき、かつ館自体も来館者増につながることが認識できた点は、今後の連携に向けて良い動機付けになったと考えられる。

### (3) 成果物について

成果物としては、県内の史跡とミュージアムを掲載したガイドブック、およびその内容をもとにしたホームページがある。

ガイドブックは来館者が各地を訪れる際に手軽に持ち歩けるサイズとした。構成は各地の史跡を巡る際の利便性を考え、地域単位の構成とし、主要な史跡を紹介した。一部史跡についてはQRコードにより携帯から動画を見られるようにし、史跡への関心を呼び起こすよう工夫した。

ミュージアム紹介は史跡に対応して、やはり地域ごとの構成とし、各地の史跡とミュージアムをセットで訪れてもらうことで、ガイダンス業務を活用していただき、県内の歴史・文化に関してより深く知っていただくことを目指した。

ホームページについては、ガイドブックと同じ内容をベースにしつつ、更新性という特性を生かして各館のイベント情報・カレンダー、収蔵品紹介のコーナーを加えた。イベント案内については常時各館の最新のイベントを案内することで、また収蔵品紹介については将来的にコンテンツを充実していくことで、多くのアクセスを得られることを狙った。

ホームページが活用されるためには、各館による更新が頻繁に行われることが肝要である。この点については、更新した館が上位に表示される仕組みや、各館のホームページとリンクさせ、双方を同時に更新できるシステムの導入（館ごとに順次導入中）により対応している。



#### (4) 参加者の反応

各館とも通常の業務の中でガイダンスを行っていたため、アンケートなどは回収していないが、各館から来館者の声として、館のみでなく、周囲の見所を案内してもらうことで、より効率的に周辺を回れてありがたかったとの声や、ホームページを訪れることで、武田氏に関連する館が県内に多数あることを初めて知ったなどの感想があった。

一方で、事業開始までの期間が短かく、事業期間も短かったこともあり、周知が不十分であるとの声もあった。ホームページについては、もっと多くの館が参加した方が魅力があるので今後さらに参加館を増やして欲しいとの声が聞かれた。

#### (5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

山梨県では県立博物館が中心となり、開館前の平成15年より「ハブ博物館ネットワーク会議」を開催し、県内の博物館・美術館が連携を深めるための方法を議論してきた。その中から、夏休みの小中学生向け自由研究支援事業や、史跡巡りツアーでの各館との連携などの具体的な事業も生まれた。しかしながら、規模の異なる館が集まっていることもあり、事業費としては主に県立博物館の予算に依存しており、大規模な事業展開が困難であるという問題を抱えていた。

今回、文化庁モデル事業として共同事業を実施したことで、これまでたびたび議題にあがりながらも、予算的な問題により実施できなかった共同ホームページの構築が可能となった。ホームページを立ち上げたことによる効果として、まず第1にこれまでホームページの管理・維持が困難であった小規模館でも、容易に更新をすることが可能となり、情報発信の機会が増えた。第2に、共同とすることで、相乗効果が生まれ、単独で運営しているホームページよりも多くの、かつ多様な層によるアクセスがあった。第3に、更新頻度やアクセス数により表示順位を上げるという方式を採用することで、各館に良い意味での競争意識が生まれ、従来よりも活発な情報発信が行われるようになった。

もう一つの柱の事業として実施した、ガイドブックの発行、およびそれを活用したガイダンス事業についても、「風林火山」の放映による全県的な追い風もあり、大きな効果を上げることができた。ガイドブックが存在することで、各館のスタッフは来館者に他館とその周辺の史跡を案内する業務をこれまで以上に円滑に推進できた。こうしたガイダンス業務は、これまでも独自に行っている館はあったが、共通のガイドブックが存在することで、より一体感を持って積極的に行うことができたとの声が聞かれた。来館者に対しても、山梨県の博物館が一体となって、武田氏の史跡をPRしているとの印象を持っていただき、県のイメージアップにも寄与できたと考えている。

最後に、今回のモデル事業実施により、連携による相乗効果の大きさについて各館が認識を深めることができた点も大きな成果であり、今後のさらなる連携に向けた動機付けとしても意義があった。

全て

ウェブ検索

ミュージアム 新着ブログ イベント情報 収蔵品その他 一覧 RSS

- 甲州武者のぼり・甲州鯉のぼり・井上染物店の世界(仮題) 【2008/03/23 10:35:00】
- シンボル展『レッドデータブックの生き物たち』いよいよ3月23日まで! 【2008/03/21 16:54:14】
- 《民俗芸能ライブ》笹子追分人形芝居(3/20)開催のお知らせ 【2008/03/19 14:37:22】
- 身延山 春の特別展 【2008/03/18 13:37:17】
- 20年度のイベント予定 【2008/03/15 13:07:17】
- 八幡ひさご会第2回作品展(仮題) 【2008/03/15 12:00:15】
- 5月の催し物予定『THE印伝』 【2008/03/15 11:21:18】
- 篆刻の世界(仮題) 【2008/03/15 11:11:58】
- 子ども名作映画会 【2008/03/13 16:50:24】
- 書庫見学のご案内 【2008/03/05 11:50:37】
- 館長トーク(3月9日開催)のご案内 【2008/02/29 12:04:25】
- シンボル展関連講座『人と動物の過去、現在、未来』のご案内 【2008/02/28 10:38:40】

#### 最新コメント

- ごめんなさい! 【2008/03/06 12:38:16】
- Re:光喜さん 【2008/03/06 12:35:56】
- きのこのホダ木作り②3月5日午後の部 【2008/03/05 21:17:10】

- 歴史 history** 歴史に対する解説  
武田信玄 戦 史跡・旧跡 考古学 歴史資料 人物 彫刻・絵画  
宗教史 古代 シンボ・フォーラム 講演会 災害史 近代
- 産業 industry** 産業に対する解説  
くだもの 工業 建築
- 文化 culture** 文化に対する解説  
茶道 能、狂言 文学
- 芸術 art** 芸術に対する解説  
浮世絵、錦絵 陶芸 絵画 書 写真 伝統芸能
- 自然 nature** 自然に対する解説  
公園 森林 動物 昆虫 希少生物 生物多様性
- 科学 science** 科学に対する解説  
エネルギー エコロジー 天文学 プラネタリウム



**イベントカレンダー**

2008年03月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

ミュージアム別イベント一覧

#### ピックアップ



#### おすすめサイト



目的・組織概要 事業計画 役員メンバー ログイン

甲斐の国 博物館ネットワーク事業実行委員会  
〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL:055-261-2631

平成19年度 文化庁芸術拠点形成事業



イベントカレンダー

2008年03月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

イベント

収蔵物

最新ブログ

近隣施設

全て

ウェブ検索

印傳博物館(いんでんはくぶつかん)



住所 400-0032 山梨県甲府市中央3-11-15 印傳屋本店2階

電話 055-220-1621(案内メッセージ)

FAX

ホームページ <http://www.inden-ya.co.jp/museum/main.html>

電子メール [admin@kokumon.co.jp](mailto:admin@kokumon.co.jp)

カテゴリ



江戸時代以前から昭和前期に至る印傳と鹿革工芸品をはじめ、復原模造品・現代作品・参考資料および道具などを展示しております。

■展示物の一例: 巾着、早遣、蓑入れ、合切袋、信玄袋、財布、革羽織、火事頭巾、弓懸、蹴鞠、革見本、道具

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 年末年始  
展示替期間

入館料 一般: 200円  
小・中学生: 100円

アクセス

■JRをご利用の場合  
●JR中央線甲府駅より徒歩15分、タクシーで約5分

■車をご利用の場合  
●甲府駅前「平和通り」の「甲府警察署」の交差点を石和方面に約700m



学芸員からの一言

印傳・鹿革工芸品の収蔵数は日本でも有数です。  
伝統工芸品に指定されている品の歴史と文化、用の美をご覧ください。



主催ミュージアム紹介

基本情報

山梨県立博物館  
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
055-261-2631

全て

ウェブ検索

イベント

- 特別展「北斎と広重 ふたりの重宝三十六景」好評開催中です！
- かいじあむ古文書講座＜初級編＞（11/10）
- 新春特別企画展「かいじあむ とっておきの収蔵品」
- かいじあむ講座『山のホトケ 蔵王権現』
- 古代考古学フォーラム『古代地域社会のチマタをめぐる諸問題』

収蔵物

- 勝山城跡（かつやまじょうあと）
- 岩殿城跡（いわとのじょうあと）
- 富士御室浅間神社（ふじおむろせんげんじんじや）
- 北口本宮富士浅間神社（きたぐちほんぐうふじせんげんじんじや）
- 太聖寺（だいしょうじ）

最新ブログ

- 武田信玄の人物紹介
- 武田信虎の人物紹介（信玄の父）
- 太井夫人の人物紹介（信玄の母）
- 三条夫人の人物紹介（信玄の妻）
- 武田義信の人物紹介（信玄の長男）

近隣施設

法善寺（ほうぜんじ）

アイテム種類	史跡
カテゴリ	歴史：武田信玄
年代	弘仁13年(822年)
住所	山梨県南アルプス市加賀美3509
電話	055-282-1693
人物	加賀美遠光・武田信玄
ポイント	鎌倉時代に武田八幡神社（韮崎市）に奉納された重要文化財の大般若経が、明治の神仏分離の時まで別当を務めていた当寺に保管されています。

画像



PC動画

武田家初代信義の弟の加賀美遠光の菩提寺である古刹です。平安時代に空海により草創された寺を遠光が再興したのですが、別な場所にあつて荒廃してしまったのを武田信虎の時代に、遠光の館跡との伝えがある現在の場所に移転し、整備したといひます。これ以後信玄や勝頼の保護の下、寺勢が高まり、特に信玄が永禄11年(1568)越後国境を目指し遠征の折には、戦勝祈願が行われてもいます。



タイトル

ホームページ③ 史跡解説

基本情報

山梨県立博物館

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

055-261-2631

全て

ウェブ検索

イベント

- 特別展「北斎と広重 ふたりの画壇三十六景」好評開催中です!
- かいじあむ古文書講座<初級編> (11/10)
- 新春特別企画展「かいじあむ とっておきの収蔵品」
- かいじあむ講座『山のホトケ 蔵王権現』
- 古代考古学フォーラム『古代地域社会のチマタをめぐる諸問題』

収蔵物

- 勝山城跡 (かつやまじょうあと)
- 岩殿城跡 (いわとのじょうあと)
- 富士御室浅間神社 (ふじおむろせんげんじんじや)
- 北口本宮富士浅間神社 (きたぐちほんぐうふじせんげんじんじや)
- 大聖寺 (だいしょうじ)

最新ブログ

- 武田信玄の人物紹介
- 武田信虎の人物紹介(信玄の父)
- 太井夫人の人物紹介(信玄の母)

近隣施設

武田信玄の人物紹介

カテゴリ

歴史 : 考古学

歴史 : 武田信玄

武田信玄(たけだしんげん)

1521~1573



幼名を太郎といい、16歳で元服し晴信と名乗り、39歳で出家してからは信玄となっています。戦国最強と謳われた騎馬軍団をまとめ上げ、5度に及ぶ川中島合戦や若き日の徳川家康に辛酸をなめさせた三方ヶ原の戦いなどを通じ、戦国大名として後々までも多くの人に慕われています。天下に覇をとなえるための西上作戦の途中で病に倒れ、今の長野県阿智村付近で53歳の生涯を閉じました。

タイトル

ニックネーム

書き込み



主催ミュージアム紹介

基本情報

山梨県立博物館

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

055-261-2631

全て

ウェブ検索

特別展「北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景」好評開催中です！

イベント

- 特別展「北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景」好評開催中です！
- かいじあむ古文書講座＜初級編＞（11/10）
- 新書特別企画展「かいじあむ とっておきの収蔵品」
- かいじあむ講座「山のホトケ 蔵王権現」
- 古代考古学フォーラム『古代地域社会のチマタをめぐる諸問題』

収蔵物

- 勝山城跡（かつやまじょうあと）
- 岩殿城跡（いわどのじょうあと）
- 富士御室浅間神社（ふじおむろせんげんじんじや）
- 北口本宮富士浅間神社（きたぐちほんぐうふじせんげんじんじや）
- 大聖寺（だいしょうじ）

最新ブログ

- 武田信玄の人物紹介
- 武田信虎の人物紹介（信玄の父）
- 大井夫人の人物紹介（信玄の母）
- 三条夫人の人物紹介（信玄の妻）
- 武田義信の人物紹介（信玄の長男）

周辺施設

カテゴリ	芸術：浮世絵、錦絵
開催場所	山梨県立博物館 企画展示室
開催期間	2007/10/11～2007/11/18
イベント時間1	09:30～17:00（24時間表記）
参加費用	無料

ギャラリー・トーク毎日開催してます！（午後1時30分から）

葛飾北斎と歌川広重。浮世絵絵画を代表するふたりの、それぞれの富嶽三十六景シリーズ全作品を一挙公開。

人々の心を惹きつけてやまない霊峰富士の気高く壮麗な姿。当代きっての浮世絵技師、北斎と広重も富士山に魅せられ、その姿を絵に写した錦絵のシリーズとして刊行しました。北斎は、世界で最もよく知られた富士の絵「富嶽三十六景」46枚。そして広重は「不二三十六景」36枚、「富士三十六景」36枚の二組のシリーズです。時間と場所によって移り変わる富士の姿。北斎と広重ふたりの富士図を比較して、それぞれの個性と富士に対する思いやイメージを探ります。また当時の人々が富士山をどのような存在と見てきたかを紹介するとともに、描き込まれた名所旧跡、村落の暮らし、旅の風俗、季節感などから、江戸時代の文化や暮らしをお楽しみいただきます。

◆観覧料：一般1000円 高校・大学生500円 小・中学生260円  
（割引料金 一般840円 高校・大学生420円 小・中学生210円）  
常設展＋企画展共通券 一般1240円 高校・大学生580円 小・中学生290円  
※次の方は特別展の観覧料が免除となります。

・県内在住の65歳以上の方（住所、年齢がわかるものをご提示ください。）

・土曜日における小学校、中学校、高等学校、特殊学校の児童・生徒

・障害者基本法第2条に規定する障害者およびその介護の方

※宿泊者割引は、県内のホテルや旅館等に宿泊された場合にご利用になります。宿泊の当日と翌日が対象になります。予約クーポン券や宿泊領収証をご提示ください。

※定期観覧券（年間パスポート）もごさいます

タイトル	
ニックネーム	
書き込み	

目的・組織概要 事業計画 役員メンバー ログイン

甲斐の国 博物館ネットワーク事業実行委員会  
〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL:055-261-2631

平成19年度 文化庁芸術拠点形成事業